

# 安心&安全な毎日のために

庄原警察署 ☎0824-72-0110

## 振り込め詐欺増加

今年に入り、広島県では振り込め詐欺（なりすまし詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金詐欺）の被害が著しく増加しています。

特に還付金詐欺は、昨年1月末広島県での発生は1件でしたが、今年は36件と激増しています。

庄原警察署の管内では、1月末現在で振り込め詐欺の被害はありません。

しかし、昨年末には、社会保険庁を名乗って、「保険金が返してもらえる」などの電話が家にかかってきたという事案が4件発生しています。

いつ、このような電話やハガキが皆さんのところに来るかもしれません。

庄原警察署は1月28日、このような被害をなく

すため、庄原警察署で、「なりすまし詐欺根絶プロジェクト会議」を開催しました。庄原市役所、庄原警察署管内の金融機関、ATMが設置されている大手スーパー、庄原日赤病院、庄原市老人クラブ連合会、防犯組合連合会などの出席をいただき、広島県警察本部減らそう犯罪情報官の講話を交えながら、庄原市から「なりすまし詐欺」を根絶するための意見交換を行いました。

犯罪を減らすためには、みんなで助け合い、支え合い「地域の安全は地域で守る」という取り組みが必要です。

決して他人事とは思わず、市民一人一人が協力し合い、庄原市内から犯罪を根絶しましょう。

新型インフルエンザの発生に備え、インフルエンザ実地研修会および新型インフルエンザ対策訓練が2月12日、庄原市ふれあいセンターで行われました。医師会などが主催し、行政や病院関係者など約200人が参加。

訓練は、市内で新型インフルエンザ患者が発生したことを想定し、行政や医療機関、消防署などの関係機関が対策本部を設置したり、病院関係者が防護服を着用して患者を診たり、感染者の拡大を食い止める方策を実演しました。参加者は「訓練によって問題点を見つけ、今後の課題として有効に生かしていきたい」と話していました。



防護服を着用し患者を搬送する訓練

## 新型インフルエンザ対策訓練



この消防自動車は、毎分1,000リットル以上放水できる小型動力ポンプを積載しており、狭い道路での走行や四輪駆動を生かした機動性の発揮など、迅速

## 損保協会から軽消防自動車を寄贈

（社）日本損害保険協会から庄原市へ寄贈された小型動力ポンプ付軽消防自動車の受納式が2月8日、庄原消防署で行われ、同協会中国支部西村敏彦事務局長から滝口市長へ目録が贈呈されました。

な消火活動に向けての活躍が期待されます。

同協会では、地域の防災力を高めることを目的に、昭和27年度から全国の市町村に対し、消防自動車の寄贈事業を行っており、今年度は全国で20台、広島県内で1台寄贈されました。

寄贈された自動車は、庄原市消防団庄原方面隊山内西分団第9部に配備し、安心・安全なまちづくりに役立っています。